

令和5年度第1回蒲郡市総合教育会議 会議録（要旨）

開催日時	令和5年8月18日（金）午後1時30分から午後2時30分まで																										
開催場所	蒲郡市役所5階 庁議室																										
出席者	<table border="0"> <tr> <td>蒲郡市長</td> <td>鈴木 寿明</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市教育委員会</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 教育長</td> <td>壁谷 幹朗</td> </tr> <tr> <td> 教育長職務代理者</td> <td>渡辺 充江</td> </tr> <tr> <td> 委員</td> <td>水藤 頼利</td> </tr> <tr> <td> 委員</td> <td>稲葉 千穂子</td> </tr> <tr> <td>【オブザーバー】</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 企画部長</td> <td>大森 康弘</td> </tr> <tr> <td> 教育委員会教育部長</td> <td>岡田 隆志</td> </tr> <tr> <td>【説明者】</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 企画部企画政策課長</td> <td>小田 剛宏</td> </tr> <tr> <td>【事務局】</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 企画部企画政策課主事</td> <td>大桑 智子</td> </tr> </table>	蒲郡市長	鈴木 寿明	蒲郡市教育委員会		教育長	壁谷 幹朗	教育長職務代理者	渡辺 充江	委員	水藤 頼利	委員	稲葉 千穂子	【オブザーバー】		企画部長	大森 康弘	教育委員会教育部長	岡田 隆志	【説明者】		企画部企画政策課長	小田 剛宏	【事務局】		企画部企画政策課主事	大桑 智子
蒲郡市長	鈴木 寿明																										
蒲郡市教育委員会																											
教育長	壁谷 幹朗																										
教育長職務代理者	渡辺 充江																										
委員	水藤 頼利																										
委員	稲葉 千穂子																										
【オブザーバー】																											
企画部長	大森 康弘																										
教育委員会教育部長	岡田 隆志																										
【説明者】																											
企画部企画政策課長	小田 剛宏																										
【事務局】																											
企画部企画政策課主事	大桑 智子																										
議事	<p>1 愛知県「休み方改革」プロジェクトについて（意見交換）</p> <p>2 こども家庭庁を含めた国の動きについて（意見交換）</p>																										
会議資料	<p>1-1 愛知県「休み方改革」プロジェクトについて</p> <p>1-2 愛知県「休み方改革」プロジェクトの詳細</p> <p>2-1 こども家庭庁を含めた国の動きについて</p> <p>2-2 こども家庭庁の組織体制の概要について</p> <p>2-3 年齢や制度の壁を克服した切れ目ない包括的支援イメージ</p> <p>2-4 こども基本法の概要について</p> <p>2-5 こども未来戦略方針について</p>																										
会議内容	<p>1 愛知県「休み方改革」プロジェクトについて</p> <p>【説明者：企画政策課長・教育長】</p> <p>愛知県「休み方改革」プロジェクトについて説明</p> <p>蒲郡市の県民の日学校ホリデー及びラーケーションについて説明</p> <p>【質疑・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭による格差が生じないよう外出だけでなく、家の中でできる学びや、市内でできる様々な体験をぜひ周知していただきたい。周知の際には、豊かな学びとは何か、家族と一緒に過ごす大切さなどのアピールもお願いしたい。 <p>⇒今年度、シティセールス推進室が蒲郡の魅力を再発見することを目的に「がまごおりじなる探検マップ」を作成した。市内の小学4年生から6年生全生徒に配布された。近くで出来ることとして、活用してもらえるよう改めて周知する。（教育長）</p> <p>【委員の主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日に働いている保護者も多くいるため、平日に過ごす時間が取れることは大変有難い。また、保護者と学びを共有することや振り返りを 																										

行うことで、より子どもの記憶に残る経験になると思う。

- ・ラーケーションの推進は、保護者の働いている職場から理解が得られないと難しい。保護者の働く環境によって、子どもが学ぶ内容等に格差が生じないよう働きかけをしていただきたい。
- ・環境による格差を生まないよう配慮する必要性を強く感じた。企業へ働きかけをして、理解を進めていきたい。その一方で、観光の町でもある本市としては、平日にもお客様が来ていただけるメリットもある。官民一体となって、取組みを成功させていきたい。(市長)

2 こども家庭庁を含めた国の動きについて

【説明者：企画政策課長】

こども家庭庁を含めた国の動きについて説明

【質疑・意見】

- ・児童クラブと放課後子ども教室を一本化することで、乳児から小学6年生まで切れ目のない支援ができると考える。保育に特化するだけでなく、学習支援の場であったり、子どものやりたいことが自由に体験できる施設になると良いと思う。

⇒できる限り連携をしているが、物理的に遠い場所やお迎えの問題など細かな壁もある。工夫して取り組んでいきたい。(教育委員会)

- ・8050 問題で大人の引きこもりが問題になっている。子ども若者という広い年代に対する相談窓口を一本化してほしい。例えば、豊橋のこども若者総合相談支援センターのような場所が市内にもできると良い。

⇒国からも「こども家庭センター」という一体的な相談窓口の設置が、市としての体制整備が求められている。今後の取組みで連携の必要性を見据えながら、組織再編するべく検討を進めていく。(企画部長)

【委員の主な意見】

- ・長期休みでは、子どもの居場所が課題に挙がる。その時に、児童クラブと放課後子どもクラブが一緒になったり、公民館を使用させてもらえると良いと思う。一部の地域では、地域の方や中学生、小学生が関わり合って活動しているところがあると聞くので、こうした活動を情報共有し、市内全域で良い形が進められると良い。
- ・近隣で民間の学童が開設した。こうした民間の動きも参考にして取り組んでいただきたい。
- ・国の動きに注視して、市長部局と教育委員会がより一体的となり、連携を強化して、進めていきたいと思う。(教育長)
- ・機構の面でも、まちづくりに関するハード面でも、子どもに対しての施設が俄かに必要となってきた。リーディングプロジェクトや駅前開発を含め、蒲郡市の状況に応じて、利便性のある施設にする必要がある。様々な課題を話し合い、民間の動きにも注視し、促しながら、進めていきたいと思う。それぞれのご意見を参考にして、これからの仕組みづくりや取組みに活かしていきたい。(市長)